





# 組み立て方

●ご使用の前には、次の順序で正しく組み立ててください。  
●包装箱は、保管するときに必要ですので捨てないでください。



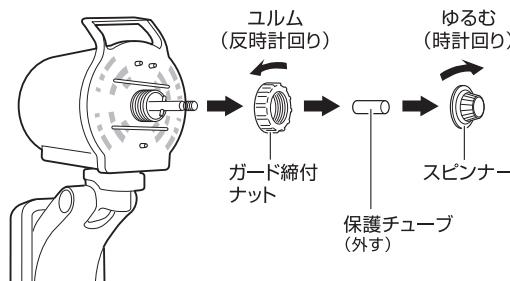
ガードと羽根が組み立てられていない状態では、モーター部はバネの力で上方向にはね上がることがあります。  
ガードと羽根を組み立てた後、壁などに取り付けた壁掛け金具に設置することで正常にご使用いただけます。

## 1 付属品の準備をします。

- 付属品(ガード締付ナット・スピナー)およびモーター軸の保護チューブは、本体に装着されていますので、それぞれ取り外し、組み立ての準備をしてください。

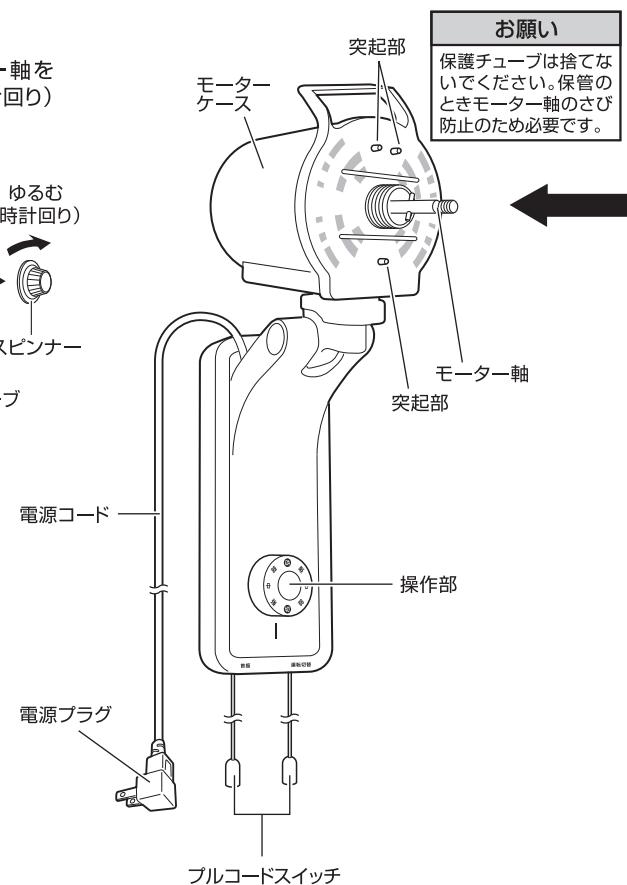
### スピナーの取り外し方

モーター軸が回転しないようにモーター軸を持って固定し、スピナーを「ゆるむ」(時計回り)方向へ回し、外してください。



## 2 ガードの取り付け準備をします。

- 後ガードを図の向きにしてモーターケースの突起部と後ガードの穴を合わせてはめ込みます。

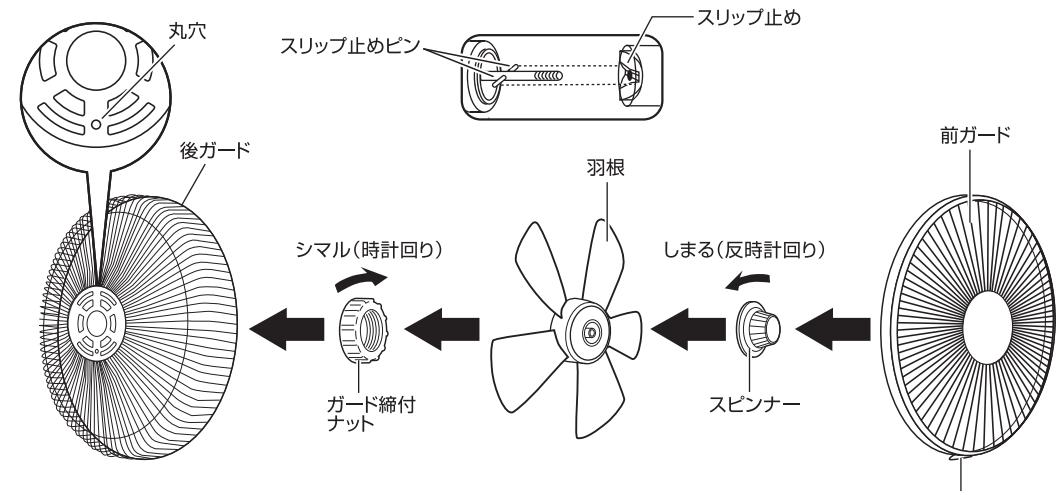


## 3 後ガード・ガード締付ナット・羽根・スピナーを取り付けます。

- ガード締付ナットを「シマル」(時計回り)方向へ回し、後ガードを確実に固定してください。
- モーター軸に羽根を差し込み、モーター軸にあるスリップ止めピンと羽根のスリップ止めの溝が合うようにセットしてください。
- スピナーを「しまる」(反時計回り)方向へ回し、羽根が確実に固定されるまで締め付けてください。

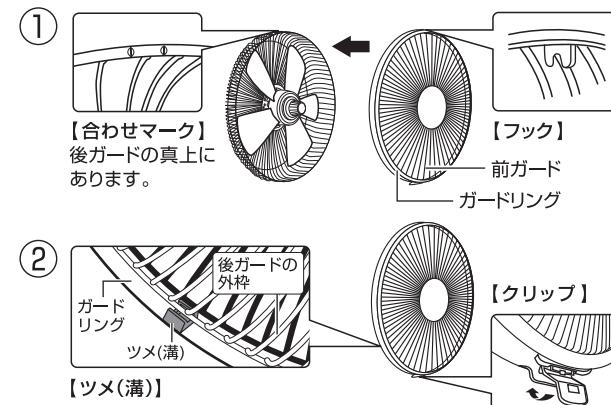
注意	羽根の取り付け
お願い	羽根は裏表があります。スリップ止めがある方が裏側になりますので、ご注意いただき組み立ててください。裏表逆に取り付けると故障の原因になります。

羽根に貼ってある注意シールは、はがさないでください。事故防止のため法で定められています。



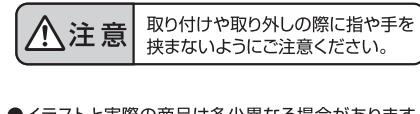
## 4 前ガードを取り付けます。

- 前ガードのガードリングにあるフックを、後ガードの合わせマークに合わせてひっかけます。
- ガードリングのツメの溝を上から順に後ガードに両手で押し込み、確実にはめ込んでください。  
最後にクリップで後ガードを挟み込むように止めます。



### 前ガードの外し方

- ガード上部を手でおさえながら、前ガードのクリップを外す。
- ガードの真上を押さえ、ガードリングの真下を手前に引いてガードを外す。
- ガードは安全のため、外れにくいようかたく設計されていますので、取り付けや取り外しの際はやや強めに力を加えてください。



● 注意 取り付けや取り外しの際に指や手を挟まないようにご注意ください。

● イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

# 取り付け方

扇風機は丈夫で垂直な板壁または柱に取り付けてください。壁材が10mm以下の薄い木板や、石膏ボードなどの柔らかい壁材料の場合は、必ず棟などの補強材のある所に取り付けてください。

## 1 取り付け場所について

- 取り付け場所は左右50cm以内に段差や障害物がないことを確認の上、取り付けてください。
- 金具は天井より50cm以上離して取り付けてください。  
天井面に近いとガードが天井に当たって取り付けられません。

## 2 取り付け方

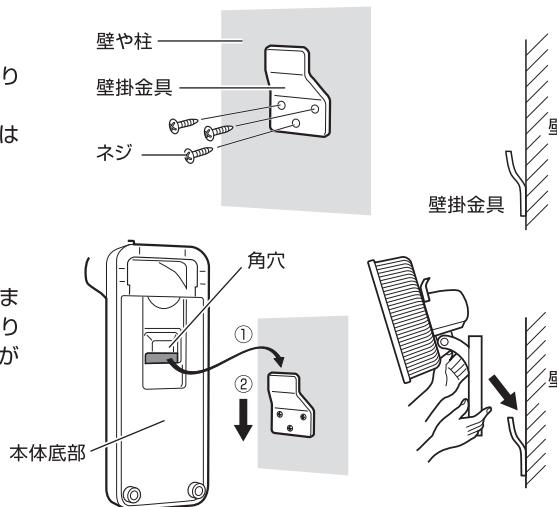
- 付属の壁掛金具を図のように3本のネジでしっかりと固定してください。

取り付け用のネジは木壁用で、コンクリート壁には使えません。

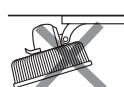
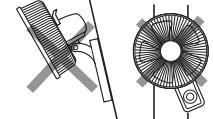
①本体底部の角穴に壁掛金具をはめ込みます。

②下方に引き下げるで確実に取り付けてください。

- 右図のように壁掛金具の上部が壁から離れていますが、その角度が本体を取り付ける際に重要になりますので、無理に壁に沿わせないでください。首がはね上がる原因になります。



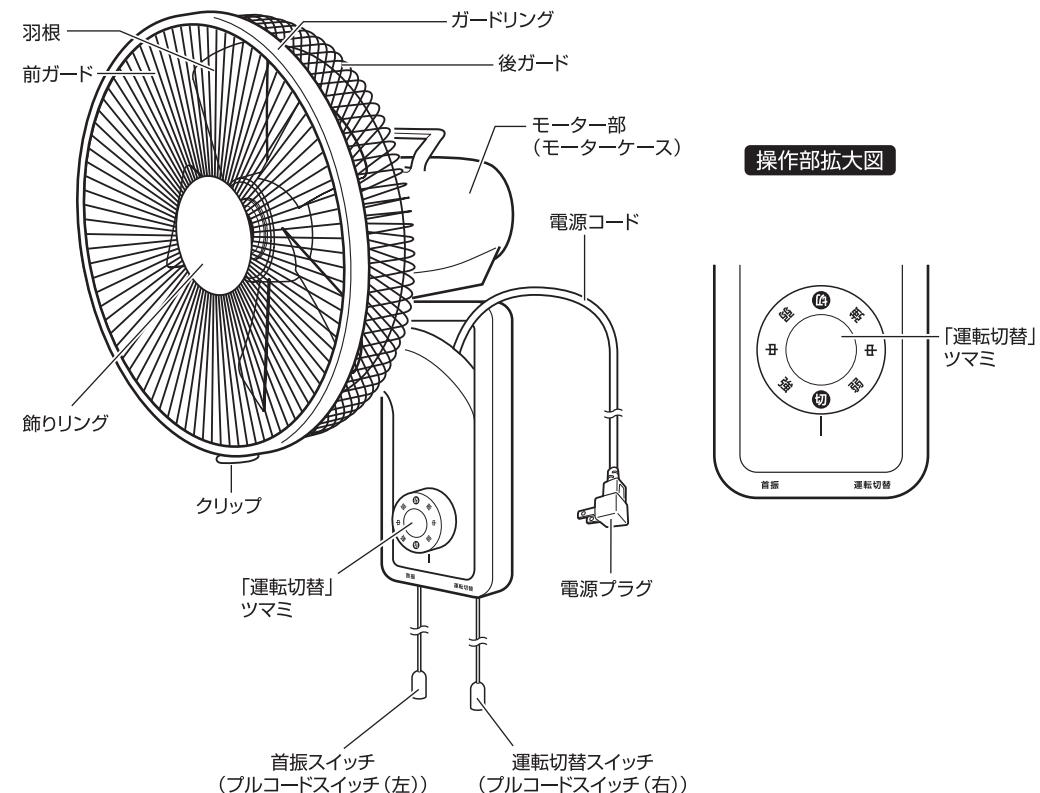
注意

- 取り付けの際は各部の隙間に指や手を挟んだり、ケガなどしないようにご注意ください。
  - 電源コードが本体と壁の間に挟まらないようにしてください。
  - 電源コードは束ねて使用しないでください。
- 
- 天井などに取り付けて真下に向けたりしないでください。 
  - 本体を傾けた状態で使用しないでください。 

# 各部のなまえと使い方

- 電源プラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

本体



●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

付属品



## 「運転切替」ツマミ(プルコードスイッチ(右))

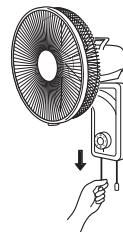
- プルコードスイッチ(右)と本体の「運転切替」ツマミは同様の動作をします。
- プルコードスイッチ(右)を引く、または「運転切替」ツマミを右回りに操作すると、次の順に風量を切り替えることができます。
- お好みの位置に合わせ、風量調整をしてください。



## 首振機能の使い方(プルコードスイッチ(左))

このスイッチで首振操作をします。

- 一度ひっぱる…首振りします。
  - もう一度ひっぱる…首振りを停止します。
- 🚫 首振り運転中に、無理やりガードを動かしたり、固定させたり、首振りを妨げる行為をしないでください。  
● 故障の原因になります。



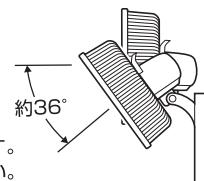
## 風向きの考え方

【運転を停止させてから、お好みの方向に向けてください。】

- 本体を片手で支えながら、ガード部を持って、お好みの方向へ動かしてください。

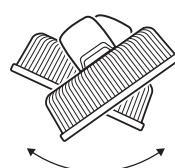
風向きを上下に変えたいとき

(フリーネック式)



風向きを左右に変えたいとき

(自由首振式)



- 下向きへの角度調整は最大約36°です。  
これ以上無理に力を加えないでください。  
故障の原因になります。

### ⚠ 警告

- ・運転中は絶対にガードに触れないでください。  
●羽根割れやケガの原因になります。

### ⚠ 注意

- ・誤って運転切替ツマミに触れないようにご注意ください。
- ・風向きを変えるときなど各部の隙間に指や手を挟まないようにご注意ください。
- ・乱暴に取り扱わないでください。  
●ケガや故障の原因になります。

## お手入れと保管について

### ⚠ 警告

- お手入れの時は必ず運転を停止させ、電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。  
●感電やケガをする原因になります。

## お手入れ

### 【本体・羽根・ガード・モーター軸の汚れ】

- 汚れや油分は、ぬるま湯か中性洗剤を浸した布で拭き取った後、柔らかい布で空拭きをしてください。

### 【電源プラグのお手入れ】

- 電源プラグは、水気のない乾いた布などで拭いてください。

### ⚠ 注意

- ガソリン、シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などで拭かないでください。また、殺虫剤などをかけないでください。  
●樹脂や塗装部分が、変色、変質する原因になります。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させないでください。  
●変質したり塗装がはげたりすることがあります。

## 保 管

組み立て方と逆の順序で取り外してお手入れをした後、次のような点に注意して保管してください。

- 本体や羽根についた汚れや油分はよく拭き取ってください。樹脂が変色したり、破損する原因になります。
- モーター軸のサビ防止のため、汚れを拭き取ってから保護チューブをモーター軸にはめてください。
- 直射日光の当たらない、湿気の少ないところに保管してください。

